

はにい

えほんのちから

平成27年9月8日

「『HUNGRY CATERPILLAR (はらぺこあおむし)』を使って、子どもたちを物語の世界に『つれていく』としたら、どんな質問をしますか？」

小学校外国語活動指導力研修の一場面です。

「”What’s this?”から始まるかな。」
「”How many oranges?”も聞ける。」
「”On Saturday Aomushi ate ...”」
「”What color ?”も使える。」

「絵本の良さって何ですか。」再び、講師から質問です。

「リスニングに役立つね。」
「そうだね。自然に場面と表現が繰り返し聞けるし。」
「繰り返されるから、自然と聞いた言葉がしゃべれるんじゃないかな。」
「異文化を紹介するのに使えるのかな。」
「他教科の授業と関連させたりもできる。」

こんな話し合いを重ねた先生たち。思い思いの絵本を選び、いよいよグループ内で互いに読み聞かせの実演です。



“(次ページをのぞいて) I can see a big grey animal”
児童役の先生が先を想像できる質問をする

“Mo o ~ !” “Roar ~ !”
次のページに出てくる動物の鳴きまねをする
身振り手振りで意味を補う



先生たち自身の想像力がふくらむ・・・

絵本を中心に、笑顔がひろがり、授業への期待もふくらみました。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は inochi4027@pref.kanagawa.jp